

平成 20 年 2 月 20 日

環境省総合環境政策局
環境経済課長 笠井俊彦様

御省調査依頼に対する弊社回答のご報告について

王子特殊紙株式会社
代表取締役社長
金丸 吉博

環境への取組に関しましては、平素よりご指導賜り、誠にありがとうございます。
また、今回の古紙配合率問題につきましては、大変なご迷惑をお掛けしておりますことを
改めましてお詫び申し上げます。

さて、平成 20 年 2 月 4 日付にて、御省よりご連絡のありました「紙製品の古紙配合率の乖
離に対する調査依頼について」にて、ご指示のありました弊社調査結果につき、下記のと
おりご報告させていただきます。

今後とも、ご指導賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

記

1. 乖離ある紙製品全てにつき、保管されている配合表、工場製造記録等から確認した調査 結果（あるいは別途調査の結果と当該調査方法採用理由）

調査結果は表 1 をご参照ください。

‘06 年度上期以降の調査結果については、表 1「弊社が再生紙として生産している銘柄
（生産量：2006 年 4 月～2007 年 12 月）」をご参照ください。

それ以前の調査結果については、添付調査報告書記載の通りです。

2. 乖離ある紙製品全ての販売時のブランド名と出荷時期

ブランド名は表 2 をご参照ください。

当社は小ロット多品種生産の特殊紙メーカーであり、古紙配合品だけで約 1,000 種類の
銘柄がありますので、類似銘柄や色違い品については、まとめて表示いたしました。また、
特定ユーザー限定の製品についてもまとめて表示し、代表的な用途名を「ブランド名」欄
のカッコ内に記載しました。

出荷時期については、当社は、特殊紙を生産する複数の小さな事業所が合併して設立
したという経緯があり、過去の記録が十分残っていない場合が多かったため、関係者か
らのヒアリングによる調査等で、遡った調査を行った結果、銘柄によってその時期は異
なるものの、5～10 年ほど前から配合率の乖離が始まったと推定されます（表 3 をご参
照ください。）

3.貴社が報告した原因の明確な根拠（乖離原因の意図性の有無と、有の場合の理由および決定者）

過去の記録が十分に残っていない場合が多かったため、関係者からのヒアリング調査等による調査を行いました。

当時は、古紙高配合率品の需要急増により、新規品はもとより既存銘柄への古紙高配合率化要求が高まっており、その要求に応えようとする中で、品質対策（主としてクレーム対応）のため、あるいは古紙パルプの入手難のため、やむなく配合率を乖離させてしまったものと考えられます。

最終的な乖離の決定者は、当時の営業担当部長と推定しますが、一旦乖離を発生させてしまうと、配合率を公称配合率に戻したときに品質クレームが発生してしまうのではないかと恐れることになり、その後も惰性で乖離状態を慢性化させ、今回の事態に至ったものと考えます。

4.これまでの品質保証に関する方法

客先の要求に応じて、紙質試験表等の発行により品質保証を行ってきました。（試験表への古紙配合率の実績値の記載要求はありませんでした）

これまでは、品質保証において、紙質(白色度や印刷適性、塵など)の確保を優先し、古紙配合率を軽視してしまう実態があったと考えられます。

5. 納入先に対する乖離状況の報告状況、及び、乖離問題の報道後のこれまでの緊急の対策と、今後表示の適正化までの当面の間の対応策

主要納入先を訪問し、緊急対策の説明を実施しました（'08.1.17 訪問・説明）。さらに代理店会（'08.1.23 実施）及び個別で代理店、卸商、要望のある顧客に、その時点で判明していた状況について詳細説明を実施しました。

在庫品で、再生紙品と表現しているもの、古紙配合率を表示しているもの、エコマーク等の環境マークを印刷あるいは別途貼付しているものについて、問題の表示箇所が目隠しラベルの貼付等を実施（'08.1.18 より実施）。

生産においては、問題表示箇所のないラベルへ変更し、更に識別のため、目印マークの貼付を実施（'08.1.18 より実施）。

実配合率についてユーザーへの連絡を行い、ご理解の得られた製品から出荷を再開（'08.1.21 から再開）。

営業部門に对外苦情窓口チームを設置し、ユーザー対応中（'08.1.21 から実施）。

グリーン購入ネットワークの「エコ商品ねっと」へ掲載した商品およびエコマークに登録した商品について、配合率が公称と乖離のあった商品については、リストからの削除を申請（'08.1.21,22 申請）

6. 表示の適正化のための具体的スケジュール、及び、そのための管理方法の改善内容と検証方法

製紙連合会においても検討中であり、その検討結果を参考にして当社の対応策を決定する予定ですが、現時点では、以下の項目を中心に検討を進めています。

環境配慮型の製品は、その要求事項（古紙配合率など）を、指示書等へ確実に記載するようルール化する。

複数部門による確認体制の確立（製造部門、品質管理部門、営業）。江別工場と東海工場に品質保証室を設置。

古紙配合率の検証方法については、製紙連合会の検討結果に従い、適切なものがあれば実施する。

7. 製造再開後の古紙パルプ配合製品のラインナップおよび最大月間生産量

これまで古紙パルプを配合していた製品については、誤解を与える表示や名称を是正した上で、実質的に販売を継続する方針です。

抄紙機の廃止等、生産体制の再構築に伴い、グループ他工場へ移抄される製品もありますが、それらを含めて最大月間生産量（過去実績 5,500t/月）の維持に努める考えです。また、古紙配合に伴う品質差について、ユーザーの理解を得るための活動を推進し、古紙配合品の利用拡大を図っていきたいと考えます。

以 上

表1 弊社が再生紙として生産している銘柄(生産量:2006年4月~2007年12月)

平均配合率は加重平均値で表した

区分	品種	配合率 (公称値)	乖離	'06/04~'06/09		'06/09~'07/03		'07/04~'07/09		'07/10~'07/12	
				平均配合率 %	生産量 t/月	平均配合率 %	生産量 t/月	平均配合率 %	生産量 t/月	平均配合率 %	生産量 t/月
印刷用紙	薄葉印刷紙 (うちグリーン購入法対象品)	10~100% (100%)	なし	70 (100)	300 (2)	70	350	60	250	65	350
			あり	35 (55)	200 (3)	5	100	15	50	-	-
	その他特殊印刷用紙 (うちグリーン購入法対象品)	20~100% (70~100%)	なし	45	5	50	5	50	15	35	20
			あり	10 (15)	1,195 (200)	15 (15)	1,195 (150)	15 (15)	1,135 (200)	15 (10)	1,180 (200)
雑種紙	その他工業用雑種紙 加工原紙	10~100%	なし	45	250	45	250	45	250	50	200
			あり	0	500	0	450	0	400	1	200
板紙	白ボール	60~100%	なし	100	2,550	100	2,400	95	1,750	80	2,800
			あり		-		-		-		-
	その他板紙	60~100%	なし	80	250	80	200	80	200	80	250
			あり	80	400	80	450	80	350	60	150
合計			なし		3,355 (2)		3,205		2,465		3,620
			あり		2,295 (203)		2,195 (150)		1,935 (200)		1,530 (200)
			計		5,650 (205)		5,400 (150)		4,400 (200)		5,150 (200)

注1 : カッコ内の数字がグリーン購入法対象品生産量(内数)です。

注2 : 薄葉印刷紙生産量にはグリーン購入法対象品2銘柄を含みます。また、その他特殊印刷用紙生産量には、グリーン購入法対象品13銘柄を含みます。

注3 : 2007年10~12月生産の古紙配合品の銘柄についても、生産量、配合率を再確認いたしました。

その他特殊印刷用紙では、グリーン購入法対象品の生産量の値に間違いがあり、値を訂正いたしました。

その他特殊印刷用紙について各銘柄の色毎の配合率を精査した結果、多数色ある銘柄の平均では配合率が乖離しているものの、そのうちの濃色品では乖離がないものがありましたので、その生産量を乖離なし欄に変更しました。

板紙においては、古紙配合製品のうちで特に配合率を表示していない銘柄を集計から除外していましたが、いくつかの銘柄で古紙配合をユーザー様へ連絡していた実態が判明しましたので、その銘柄の生産量を追加いたしました。なお、追加した銘柄に配合率が乖離した銘柄はありませんでした。

表2 公称配合率と乖離があった紙製品のブランド名(代表銘柄)

王子特殊紙株式会社

OEM品、特定ユーザー限定品を除く、生産量10t/月以上の銘柄について記載しました。
 (同一銘柄で複数色・種類がある銘柄は、その生産量合計で10t/月以上のものを記載しました。
 なお、グリーン購入対象品については、生産量にかかわらず、記載しました。
 グリーン購入対象品欄の 印は自社での登録銘柄、 印は代理店など他社での登録銘柄です。

区分	品種	ブランド名	グリーン購入法 対象品	乖離品の生産時期	
				乖離開始時期 (推定)	最終生産
印刷用紙	薄葉印刷紙	ビューコロナ手帳クリーム グリーン100		'03年頃	'06年上期
		その他特定ユーザー限定品 (手帳用紙、約款用紙など)		'00年～'03年頃	'07年上期
	その他特殊印刷用紙 (ファンシーペーパー)	OKスーパーエコプラス		'01年頃	'08年 1月
		新シリアルペーパー (計4種)		'00年～'03年頃	'07年上期
		五感紙 (計39色・種類)		"	'08年 1月
		デュークブラウン (計3色)		"	'07年上期
		セキュリティー用紙銀河		"	'07年上期
		ジーンズエコ100		"	'07年10月
		グラフィテキスト (計2色)		"	'08年 1月
		グラフィエコカラー (計5色)		"	'07年上期
		グラフィエコ100 (計3色)		"	'08年 1月
		グラフィーミルク 1		"	'08年 1月
		アトモス (計8色)		"	'08年 1月
		Mag100 (計5色)		"	'07年12月
		GAボード (計10色)		"	'08年 1月
		OKエコジャパンR (計45色。うち、「くろ」は乖離なし)		"	'08年 1月
		OKミュージバナナ (計17色)		"	'08年 1月
		OKミュージコットン (計117色)		"	'08年 1月
		OKミュージガリバーリラ (計3色)		"	'08年 1月
		OKミュージガリバーしるもの (計3色)		"	'08年 1月
		OKミュージガリバーエクストラ (計3色)		"	'08年 1月
		OKミュージカイズル (計11色)		"	'07年10月
		OKフェザーワルツ (計17色)		"	'07年12月
		OKサンドカラー (計11色)		"	'07年12月
		OKゴールデンリバー (計17色)		"	'08年 1月
		OKエコプラス (計4色)		"	'08年 1月
		OKACカード (計9色)		"	'08年 1月
		新パフン紙 (計15色)		"	'08年 1月
		リカラー-N (計40色)		"	'08年1月
		ピオトープGA (計13色)		"	'07年12月
		テンカラー皮しぼ (計35色)		"	'07年12月
		テンカラー (計22色)		"	'08年 1月
	スノーフィールド		"	'07年12月	
サイタン100W (計15色)		"	'08年 1月		
エ - スベ - パ - (計28色)		"	'07年10月		
エコラシャ (計26色)		"	'07年12月		
あららぎ (計23色)		"	'08年 1月		
特定ユーザー限定品		"	"	～'08年1月	
雑種紙	その他工業用雑種紙 加工原紙	特定ユーザー限定品 (封筒用紙、掛紙用紙など)		'99年～'01年頃	'07年12月
板紙	その他板紙	N地券紙		'07年 9月	'07年 9月
		特定ユーザー限定品 (紙ファイル用紙など)		'98年頃	'07年11月

表3 王子特殊紙の再生紙に対する取組の経緯

王子特殊紙株式会社

年代	法規制、社歴および生産体制		王子特殊紙の動向	
	法規制、社歴	生産体制 (設備対応含む)	王子製紙(特殊紙部門) 江別、岩淵、(富士宮)	富士製紙 新富士製紙 富士、第一、芝川、富士宮 安倍川製紙 静岡
~ 1995		新富士)第一 上白古紙処理設備(60t/D) DPK古紙処理設備(40t/D)	不明 封筒用紙(掛紙)生産開始(江別) '91 カラー封筒用紙生産開始(江別) (両銘柄とも古紙無配品でスタート)	'79 テンカー-インボ'入上市 '86 新利休上市 '87 テューク'ラウ'ン上市 '88 モダニ'ニ上市 (いずれも古紙無配品でスタート) '57 OKミューズ' ヲットン上市 '69 OKミューズ' スト'ン上市 '70 OK'レスカ'ー上市 以後、OKミューズ' シリーズ' 等のファツ'ー一般品を順次上市(古紙無配品)
1996	96/10 王子製紙発足 (新王子/本州合併)	本州)富士宮 雑誌古紙処理設備(150t/D) 段ボ'ル古紙処理設備(60t/D)		
1997			封筒用紙(掛紙)古紙配合化(江別)	新シリアル' -パ' -上市
1998		安倍川) '98/09 12号抄紙機廃止		新利休、モダ'ニ、テューク'ラウ'ン等の古紙配合化 OK'コ'ラス上市
1999			カラー封筒用紙 古紙配合化(江別) 準高白DIPの調達が困難になる(江別)	テンカー'古紙配合化
2000		王子)江別 '00/11上白古紙処理設備稼働 (6t/D)	上白古紙の調達が困難になる(江別)	OK'コ'パ'ン生産開始(安倍川OEM) OKミューズ' シリーズ' 等ファツ'ー一般品の古紙配合化
2001	'01/01グリーン購入法施行 '01/10)富士宮事業所を 新富士製紙へ編入	新富士)第一 '01/03 D2'シ'ン廃止 '01/04 タ'ブ'ル'ワイ'ヤ'抄取設備稼働 '01/08 上白精選強化設備稼働	江別工場では、この頃から、配合率の乖離が発生したと推定	この前後の時期で、各社から古紙配合製品の上市が相次いだ。 一方で、古紙および古紙パルプの入手が困難になってきた OK'ス'パ' -'コ'ラス上市
2002		安倍川) '02/08 3号抄紙機廃止 新富士)第一 '02/11DPK古紙処理設備増強 (40 70t/D)	ビ'ュ'コ'ナ'手帳'ク'リ'-AG100上市(岩淵) '02/07 'グリーン購入'ネツ'ワ'ク'登録 FSC認証取得(江別)	OK'ス'パ' -'コ'ラス'印刷'ク'レ-'ム'発生
2003	'03/01 富士製紙発足 (安倍川/新富士合併)	富士)富士宮 '03/01 雑誌古紙処理精選設備強化	'03/09 ビ'ュ'コ'ナ'手帳'ク'リ'-AG100印刷'ク'レ-'ム'発生(岩淵) ビ'ュ'コ'ナ'手帳'ク'リ'-AG100は、この頃、配合率の乖離が発生したと推定	DPK(ケ'ト'古紙DIP)の調達が困難になる(静岡) 静岡、富士などでは、この頃から配合率の乖離が発生・拡大したと推定
2004	'04/10 王子特殊紙発足 (富士/王子(特殊紙事業)合併)	富士)第一 '04/04 DPK古紙処理設備強化 (ケ'ト' ケ'ト' + 色上'古紙) '04/10 静岡)6,7号抄紙機廃止		MCP(ミ'ル'ク'カ'ー'ト'古紙)の調達が困難になる(第一)
2005		'05/04 富士宮)DPZ古紙処理設備稼働 (30t/D)		OK'ミ'ュ'ズ' ガ'リ' -HG上市(富士、FSC認証紙)
2006		'06/04 富士宮)DPZ古紙処理設備増強 (50t/D)		
2007		'07/8 江別)高白DIP設備稼働 (20t/D) 静岡)2号抄紙機廃止 '07/8 第一)3号抄紙機廃止 '07/10 富士宮)雑誌古紙処理設備増強(2系統化) '07/11 第一)4号抄紙機廃止	'07/12 封筒用紙(掛紙)、カラー封筒用紙の生産終了	
2008	'08/01 古紙配合率問題	'08/02 富士)7号抄紙機稼働 '08/8 静岡事業所閉鎖(予定) (1,2号抄紙機廃止予定)	'08/01 乖離品について、製品ラベルなどでユーザーの誤解を招く表示を訂正 グリーン購入'ネツ'ワ'ク'登録品は登録取下げ	'08/1 'ス'パ' -'コ'ラス'生産終了 静岡製造所閉鎖

王子特殊紙各工場の歴史

